



3日3回の説明会に105人 「南信州いむす21」改定へ



「南信州いむす21」改定説明会、第3回目は9月26日(木)の夕方に飯田市役所で30人が参加して行われました。進行は南信州広域連合、今回の説明は多摩川精機(株)・アイパックス(株)・三菱電機(株)・吉川建設(株)。

会場で参加者に実際に説明して参加者からの反応で、ここはこう直した方がもっとわかりやすい、この説明は間違っている、ここにこんな説明が必要だ、など気づかされます。「PDCA」には慣れているとはいうものの、お恥ずかしながら説明会に使用した資料等は毎回、かなり手直しされました。

多くの目で見る、多くの視点でのチェック、じっくりと時間をかけないままの印刷、説明会、反省しています。



第1回目16人、第2回目は59人、計3回の説明会に、のべ105人が参加してくれました。参加者からは仕組みが変わることに対し不安も出されました。「様式が変わって、資料を作り直さなければならないの?」(←様式はあくまで例示です。必要な内容があれば現在使用中の様式でOK)「何で費用上げるの?」(←より責任を持って審査等対応するためです。)
「パソコンやインターネットを使えない事業所はどうするの?」(←手書きで対応できるようにしました。)
「事務局へ郵送でも可なのになら郵送先住所が書いてない。」(←失礼しました。加えました。)

逆にこんな嬉しい反応も返ってきました。「新システム、分かりやすいですね。」「前の要求事項は言葉が難しく、何を言われているのか分からなかったけど、今度の方が全然いいですね。」「更新審査は、新システムで、お願いします。」

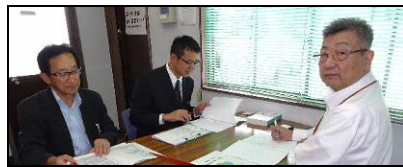
登録証の交付式・全54事業所に 改定版での初めての審査

「南信州いむす21」の登録証の交付式が10月5日に飯田市長室で行われました。広域連合長である飯田市長から交付された3事業所は松島産業(株)第二工場(初級・更新)、協和設備(有)(初級・新規)、南信州広域連合事務局(上級・更新)です。



登録事業所はこれで54事業所になりました。初級 27・中級 14・上級 7・ISO 14001 南信州宣言 6事業所。改定版は「級」ではなく100点満点中での「ポイント」制となります。さて、それぞれの「級」の事業所がどのような「ポイント」になるのか。移行審査の結果が気になります。

19年3月までの6月間は、旧版または改定版での審査を選択できます。19年4月以降はすべて改定版での審査となり、22年3月までの移行期間内にすべて移行となります。



改定された「南信州いむす21」初めての(更新)審査は10月4日の綿藤トキフアズ(株)でした。担当の原部長の熱い思いが伝わってきます。

以前は「上級」、新しい仕組みや要求事項からはどのような審査ができるかトライアルの審査を研究会事務局の2人で対応しました。

「南信州いむす21」改定に向けこれまで時間をかけ、いろいろなケースを想定して検討してきました。しかし実際の運用をもとに審査してみるとこれがなかなかうまくいかないものです。審査する側からまだまだ仕組みの手直しが必要です。

窓口の南信州広域連合のホームページに新しい取り組みマニュアル様式を掲載始めました。こちらも徐々に内容を良くしていきます。

<http://minami.nagano.jp/project/ems21>

オムロンAEで相互内部監査 10/18「省エネセミナー」に参画



研究会は参加事業所で行う内部監査に組織外部から内部監査員を受け入れる「相互内部監査」を進め、その事業所を増やしてきました。

オムロンオートモーティブエレクトロニクス(株)飯田事業所事務局に対する内部監査に研究会から3人が相互内部監査員として参加しました。

その事業所で運用するシステムは長年の蓄積された独特の文化です。外部の目はシステム検証で内部にはない視点を補うものです。改定の「南信州いむす21」の加点項目に相互内部環境監査への参加もあります。事業所間の交流として地域の文化としてさらに育つと…。



来週10月18日(木)13:30~15:30、飯田市役所で「省エネセミナー」が開かれます。「エネルギーコストの削減は利益の源泉!!」。申し込みは10月12日までですがギリギリ当日参加でもOKです。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

「秋の環境一斉行動週間」が明日10月10日(水)から始まります。16日(火)までの1週間、「ノーマイカー」「空気圧・車内荷物」「冷蔵庫内の省エネ」「そなえる防災」の4項目です。取組カレンダーの配布など準備を。

【ご意見、お問合せ】、【問い合わせ先】
福岡健志(多摩川精機(株) 研究会事務局) takeshi-fukuoka@amagawa-seiki.co.jp
小林敏昭(飯田市役所) 研究会事務局 kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp



生き抜く「省エネセミナー」 エネルギーコスト削減は利益の源泉



10月18日(木)13:30~15:30、飯田市主催の「省エネセミナー」が飯田市役所C311~313で開かれました。飯田商工会議所と長野県南信州地域振興局が共催し、地域の産業経済関係団体等などの協力もあり会場いっぱい97人の参加でした。「今のままでは利益がなくなる」、「激動の時代を生き抜く」、「エネルギーコストの削減は利益の源泉!!」。講師はエコエナジー(株)の伊藤智教代表。照明を落としBGMが流れスライドがアニメーションで次々展開。参加者の中に入り問いかけの手法。となりの人と「省エネ」の定義について意見交換をしたりと自ら考えながら学ぶ研修会でした。



飯田市は、内閣府から環境モデル都市に選定されて以来、分権型エネルギー自治による持続可能な地域づくりを目指して先進的に取り組んできました。環境モデル都市選定からちょうど10年目の節目の年。

この10年間、環境モデル都市行動計画に基づき、太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーの普及拡大に力を入れてきました。一方、エネルギーコストの削減といった部分の省エネ対策への仕掛けは、まだまだ弱いのかも知れません。

今回のセミナーは、気候変動への適応も視野においたもの。省エネ対策の重要性と経営におけるエネルギー費用をいかに利益にできるかを追求していく機会として設定しました。また、それぞれの職場で持続的に省エネ活動をするための学びの機会としても位置づけました。

秋の環境一斉行動週間の報告 初めて参加の事業所からも

「秋の環境一斉行動週間」が10月10日(水)から16日(火)まで1週間、今回は4項目、「ノーマイカー」「空気圧・車内荷物」「冷蔵庫内の省エネ」「そなえる防災」で取り組みました。

早くも参加報告書がメール添付やファクシミリで届いています。月末10月31日(水)が報告の期限です。報告書に書かれた「各自で工夫したこと」「ご意見・ご感想・メッセージ」からいくつかを紹介します。今回初めて取り組み項目とした「そなえる防災」に関連したものを。



- ・防災グッズリストで備品確認ができました。
- ・会社に防災持ち出し袋セットを従業員分購入しました。
- ・中身をチェックし常に置き場を把握できるようにしました。
- ・「東京防災」の本を従業員に支給し家庭での防災意識向上教育を行った。
- ・環境意識向上とともに、昨今多発している自然災害に対応できるよう、対策ができて大変有意義な期間でした。改めて防災意識の向上にも繋がりました。
- ・「NHKそなえる防災」サイトの案内を社員食堂へ掲示しました。
- ・毎年一斉行動週間に家庭用非常食の取り換えや確認の日を決めると忘れずにいいと思います。
- ・普段、防災のことは意識しないで生活しているけれど、このような取り組みがあり、家の中の家具の固定や配置を見直すことができました。
- ・「こんなところにも危険が!」の内容は参考になりました。
- ・居室・寝室の家具を排除しました。
- ・1年分のお米を蔵に貯蔵しました。
- ・防災に備えて乾電池・水を購入した。

一方でこんな意見も当然ありました。

- ・防災と環境の活動がどのように結びつくのか理解できなかった。
- ・環境面からすべてのことを取り組むことは不可能と思う。
- ・災害への備えとCO2削減のつながりを教えていただきたいかった。

議論の前に定義は必要です 「環境」「省エネ」も「防災」も

環境マネジメントシステムの国際規格 ISO 14001: 2015 その日本語規格が JIS Q 14001: 2015 です。その規格の「3 用語及び定義」3.2.1 で「環境」は次のように定義されています。定義は大事です。

環境 (environment)

大気、水、土地、天然資源、植物、動物、人及びそれらの相互関係を含む、組織 (3.1.4) の活動を取りまくもの。

注記1 “とりまくもの” は、組織内から、近隣地域、地方及び地球規模のシステムにまで広がり得る。

注記2 “とりまくもの” は、生物多様性、生態系、気候又はその他の特性の観点から表されることもある。

「秋の環境一斉行動週間」で今回取り組みを要請しました4項目、「ノーマイカー」「空気圧・車内荷物」「冷蔵庫内の省エネ」「そなえる防災」。これについても本当は詳細な定義が必要でしょう。取り組み内容の例や取り組み事例の紹介はしましたが定義は確かにしていません。取り組む人の受け止め方により、内容が変わってしまうかも知れません。それでいいのかも知れません。



「省エネセミナー」の中でも定義の大切さを説明されました。「ケチ」、「節約(節電)」、「省エネ」の違いを先ずしっかりしておく必要があると。「省エネ」の検討をしているのにいつの間にか「ケチ」、「節約(節電)」の検討に移ってしまうことがあると。



秋の環境一斉行動週間報告 工夫したこと・意見・感想・メッセージ



研究会が飯田下伊那の事業所に参加を呼びかけて行っています「環境一斉行動週間」。「2018 秋」の取り組みは 10月10日(水)~16日(火)の1週間でした。①「ノーマイカー」②「空気圧・車内荷物」③「冷蔵庫内の省エネ」④「そなえる防災」の4項目が今回の取り組みでした。

それぞれの事業所が忙しい中で取り組んでいただいていることに感謝申し上げます。集約中でまだ報告のない事業所もあるでしょう。現時点では「2018 夏」を超えた数の事業所での取り組みとなっています。

研究会に対する意見をいただけるのも、この「環境一斉行動週間」が一番多い機会となっています。これまで、いただいた意見を全てまとめた報告を作っていました。しかし、いただいた多くの意見の中から特に参考となる多くの人が取り組みそうなことをできるだけコンパクトに早く「ぐるみ通信」で伝えた方がいいと今回まとめました。

取り組み項目についての説明が不足して、何に取り組んでいいのか分からないなど、通知をもらった事業所では戸惑いもあるようです。限られた紙面とはいえ、特に新しい取り組み項目は丁寧な説明が必要であるのに足りず反省しています。

「環境一斉行動週間」がこれからもより取り組みやすく効果的な取り組みとなりますようご意見をどうぞ、お寄せください。少しずつ、変えていけるようにしていきます。

取組報告書に書かれた「各自で工夫したこと」や「ご意見・ご感想・メッセージ」から今回も紹介します。今回初めて取り組み項目とした「そなえる防災」には多くの意見が寄せられています。参考になります。

モノの数が増えないように 徹底的に冷蔵庫の整頓に力

◆家でレギュラーガソリンを焚いて調理に利用しています。ほぼ毎日、加熱調理をしていますが3か月で10ℓも消費できないほどの熱量があります。10ℓをすぐに消費してしまう車などは圧倒的な量の資源を使っていると実感します。

◆身の回りのモノの数が増えすぎないように整理しておくのは、結果、環境の改善と防災、どちらにも役立つのではないかと。常に両立するとは思わないが、結び付けて取り組むこと自体は考え続ける意味はあるかもしれない。

◆工夫ではないが、今回は徹底的に冷蔵庫の整頓に力を入れた。

◆このような取り組みがないと、毎日使っている車の整理などしないが、今回、車の中に必要でない物(タイヤチェーンの積み放しとか)が多いことに気づかされました。

◆公共交通機関が不便で山間部が多い当地域ではノーマイカー通勤は実態に合わないのではないのでしょうか。

◆ノーマイカーが表題になっていますが、エコドライブとした方が取り組みやすいと思います。

◆ノーマイカーの取り組みは物理的に困難で実施率は思わしくありませんでした。

◆そなえる防災は、今回が新しい取り組みで誰もが必要となることなので良かったです。

◆防災対策の必要性は日頃から感じてはいるもののなかなか取り組みずいまいが、今回の取り組みが良い機会となりました。

◆「そなえる防災」の集計は「家庭で・事業所で伝えた・確認した人数」という活動内容でしたが、弊社では「家庭で防災に取り組んだ」という内容に変更し取り組みました。(結果は34%の取り組みでした。)

◆「そなえる防災」何をしてよいかあまりわからないという意見がありました。

日本語は難しいですね。捉え方によっては別の意味になってしまうこともあります。考えすぎ?

◆この「環境一斉行動週間」の取り組みをきっかけに、家族と冷蔵庫の整理を行いました。

初めての「そなえる防災」 こんな取り組みが報告され

▼地震災害に備えて一番人気の「自衛隊防災 Book」を購入▼常に家族で防災について話す▼浴槽の水は日中はためておき、入浴直前に抜いて掃除する▼家の中に蛍光灯テープを貼り、避難の明示▼非常用発電機の動作確認と備蓄のガソリンの点検▼防災グッズの見直し、非常食の購入▼キャンプ用品を整理し、家の中ではなく庭の物置にまとめて置く▼会社内にカセットコンロと簡易トイレを防災用品に加えた▼車のガソリンは満タンにしておく▼乾電池は充電式に入れ替えた▼水 20ℓと非常食糧 5日分を購入▼自宅内の危険箇所を確認▼避難用リュックの中身を3か月に1回は点検し入れ替え▼家具の転倒防止を設置▼水、ロウソク、懐中電灯は日ごろから準備▼会社として避難訓練を実施▼携帯ラジオを購入▼備蓄食料を増やした▼パントリーの非常食コーナーを拡大し備蓄品コーナーにし家族にも置き場を周知▼水や電池など防災用品を買い足し▼子どもがいるので被災した時を想定してもう少し備えについて考えていく▼災害による停電に備え小型発電機を購入▼台風では家のシャッターを閉める▼雨が自宅の敷地内に入りづらくなるよう、庭を整備し土のう袋も備えた▼食器棚に転倒防止の突っ張り棒を設置▼防災として強風で飛ばされそうな構造物の飛散防止対策▼台風の際は植木鉢等を家の中に▼地震・停電に備えて、水、バール、手回し式ランタンなどを常備▼消防団員として、車にはヘッドライト・ヘルメット・安全靴を常備し、緊急時にも対応しやすい環境▼子どもたちと、下校途中・家で一人で留守番している時などいろいろな状況で地震が来たらどう行動するかを確認▼防災リュックを購入▼1年分のお米を蔵に貯蔵▼消火器点検、新品1台を購入▼ベッドの近くにスリッパと懐中電灯を置く▼防災用品を準備(LED)電灯、卓上コンロ、ガス、ローソクなど▼防災用ランプを購入▼防災グッズ専用の場所を設置▼地区の文化祭の展示で、家具転倒防止グッズを180個用意し、すべて配布▼家庭の火災報知器の確認やコンロ周りの燃えやすいものの移動▼天候が悪いとわかったら事前に買い出し▼家族で非常時の集合場所を確認▼ベッド周辺に背の高い家具なし▼防災に関するコラム等があれば、常に情報を得る▼飯田市や自治体などの災害時協定を締結▼アウトドア用ランタンを購入し、災害時の停電に備え、家族で使用方法を確認▼乾電池を使用する用具を確認し、液漏れチェック▼水を用意はポリタンクをいくつか用意しておいたほうが良い▼初めて防災備品、食料等を一つの入れ物にまとめてみた。

【ご意見、お問合せ】、(仮)情報系

福岡健志(多摩精工機機) 研究会事務局

takeshi-fukuoka@amagawa-sei-ki.co.jp

小林敏昭(飯田市役所) 研究会事務局

kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp



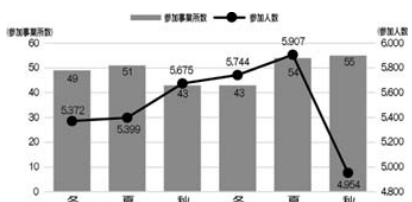
秋の環境一斉行動週間

参加の集計 56 事業所・5,008 人



「2018 秋の環境一斉行動週間」の取り組みは、報告期限の翌日、11 月 1 日に報告がひびくと止まり、結局、56 事業所 5,008 人となりました。前回夏の取り組みより事業所数はプラス 2、人数は残念ながらマイナス 899 人。一番大きい事業所は 1,278 人、小さいのは 3 人でした。

地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いむす 21」改定版で「環境一斉行動週間」への取り組みを必須にしたので取り組みが拡がること期待しました。しかし、初めて取り組んでくれた事業所がある一方で、常連の事業所からの報告が今回はなかったりと拡がりの難しさを思い知らされました。事業所・家庭での小さな取り組みの積み重ねが大きな結果になると信じて続けていきます。



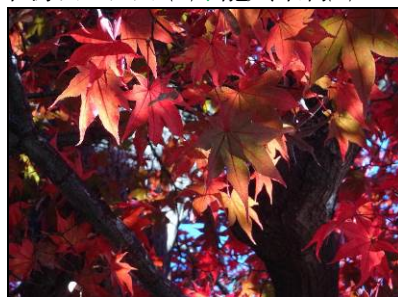
取り組み項目ごとの集計です。

- ①「ノーマイカー」5,114 人、
 - ②「空気圧・車内荷物」5,292 回、
 - ③「冷蔵庫内の省エネ」4,642 台、
 - ④「そなえる防災」5,826 人。
- 参加人数に対するそれぞれの取り組みの割合は全体では①1.62、②1.06、③0.93、④0.72 と「そなえる防災」が苦戦！。事業所ごとのトップは①3.83、②2.33、③1.60、④4.09 という数字です。

公共交通に頼ることのできないマイカー通勤が当たり前の当地域。一斉行動週間にはかなりの無理をして通勤の「ノーマイカー」に取り組んでいたということが伺えます。また休日の外出を控えていることもあるでしょう。すごいです。

取り組んでいただいた事業所 ご協力ありがとうございます

- ◆(株)五十川商店 ◆(有)P A P アライ
- ◆エコトピア飯田(株) ◆(株)アイテック
- (公財)飯田市体育協会 ◆南信州広域連合事務局 ◆多摩川エアロシステムズ
- (株)飯田事業所 ◆(株)龍光電気工業
- (株)丸宝計器 ◆原建設(株) ◆(株)三六組
- ◆日進精機(株) ◆飯田工業(株) ◆木下建設(株)
- ◆(株)アイパックス ◆多摩川ロジステックス(株) ◆(有)野中製作所 ◆(有)愛光電子
- ◆三菱電機(株)津川製作所飯田工場 ◆(株)ミナミ ◆飯田クリーン(有) ◆おひさま進歩エネルギー(株) ◆綿藤トキアース(株) ◆南信州広域連合飯田広域消防 ◆多摩川パーツマニファクチャリング(株) ◆シチズン時計マニファクチャリング(株)飯田工場 ◆TDK庄内(株)飯田工場 ◆勝間田建設(株) ◆吉川建設(株) ◆飯田市役所 ◆イフタニ長野(株)飯田支店 ◆アザーレミックス(株) ◆多摩川精機(株) ◆飯田精密(株) ◆ダイワ設備(株) ◆(株)ヨシカズ ◆多摩川精機エレクトロニクス(株) ◆飯田信用金庫 ◆飯田合同庁舎 ◆(株)マエダ ◆(株)NEXAS ◆(有)大蔵製作所 ◆(有)飯田スクリーン工業 ◆技建開発(株) ◆夏目光学(株) ◆中部電力(株) ◆オムロンオートモーティブエレクトロニクス(株)飯田事業所 ◆(有)三笠エンジニアリング ◆(株)山岸エーアイシー ◆上久堅保育園 ◆(株)タニガワ ◆(株)トーエネック飯田営業所 ◆神稲建設(株) ◆(株)原鉄 ◆山京インテック(株) ◆龍共印刷(株)



こんなど意見をいただきました。ゼロだと何倍にしてもゼロですが、1人なら倍々と…？一度火が消えると再点火は難しくなりますが、細々と燃えていけば広がる可能性があります。力尽きてそのまま消える可能性もあるでしょうが、どこの事業所も人員的に余裕がなく自由度が効かない状況です。研究会の活動は、参加している企業も含めもっと知名度が上がると参加しやすくなるのかも知れませんね。

カレンダープレゼント会

八十二銀行・市役所で年末に

不要カレンダー・手帳の募集
 募集期間：12月17日(月)～21日(金)
 持込場所：八十二銀行飯田支店
 飯田市役所C棟3階 C314

不要カレンダー・手帳のプレゼント会
 日時：12月27日(木) 28日(金)
 9:00～12:00
 場所：八十二銀行飯田支店
 飯田市役所C棟3階 C311～C313

今年も長野県環境保全協会飯田支部と協働して「カレンダー・手帳のプレゼント会」を行います。納入業者等から頂いたカレンダー・手帳で不要になったものを提供いただき、市民の皆さんに活用していただけます。ご協力願います。広報いむす 11 月 15 日号でも周知する予定です。

飯田りんご並木の収穫祭が昨日あり、ふじ等の赤いりんごが手入れする中学生らによって収穫されて一気に寂しくなりました。折れていた幹や病気になった木がまるごと伐採されました。飯田のまちづくりのシンボルである街中のりんご並木。あり方や管理がますます難しくなってきました。研究会も…。



【ご意見、お問合せ】、【配信情報】
 福岡健志(多摩川精機(株)) 研究会事務局
takeshi-fukuoka@amagawa-seiki.co.jp
 小林敏昭(飯田市役所) 研究会事務局
kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp



ISO 14001:2015 年版 「南信州宣言」の研究会による確認



地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」の「ISO 14001 南信州宣言」。これは事業所のシステムがISO14001規格へ適合することの自己適合宣言について研究会が確認するものです。研究会に参加する事業所に所属する環境マネジメントシステム審査員資格を持つ者による確認です。

ISO 14001「序文」 (JIS Q 14001)

0.5 この規格の内容

この規格は適合を評価するために用いる要求事項を規定している。組織は次のいずれかの方法によって、この規格への適合を実証することができる。

- 自己決定し、自己宣言する。
- 適合について、組織に対して利害関係をもつ人又はグループ(例えば顧客など)による確認を求める。
- 自己宣言について組織外部の人又はグループによる確認を求める。
- 外部機関による環境マネジメントシステムの認証・登録を求める。

ISO 14001(JIS Q 14001)規格は2015年版へ移行がISO規格発行の2015年9月15日から3年以内に行われることが求められています。

研究会としては「南信州いいむす21」のシステム変更を優先して、2015年版移行への対応は初めてとなりました。11月20日(火)の終日、勝間田建設株式会社の本社会議室、松尾の工事現場で確認しました。

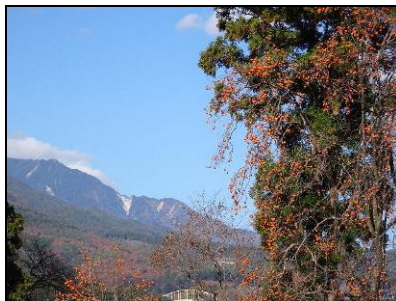
規格要求事項と環境マニュアルの対比表で2015年版規格要求事項を満たしていることを、研究会からの2人が環境マニュアル、帳票類や実際の運用により、確認しました。

自己宣言ゆえの自由度の高さ 透明性・客観性・情報開示も

勝間田建設(株)は審査機関による審査登録を継続している品質マネジメントシステム ISO 9001(JIS Q 9001):2015 をベースに環境マネジメントシステムは自前で構築・運用しています。2011年4月に南信州いいむす「中級」からスタートさせ、2015年6月にはISO 14001 南信州宣言にステップアップし、2017年8月に2015年版へ移行しています。

インタビューで社長から経営に対する意識の高さを、それぞれの確認で事務局のマネジメント能力の高さを感じました。しかし特定の人にかかっている大きな負荷、急がれる後継者の育成、情報不足から不明瞭な理解など運用面において認識している課題も確認できました。

運用しやすい更なるシステムへ共有できたことについては改善の提案もしました。環境マニュアルへ自己適合宣言の確認である「南信州いいむす21 ISO 14001 南信州宣言」や「南信州いいむす21 取り組みマニュアル」の位置づけ明確にすること。環境方針は社是など会社の良さをよりアピールした個性的なものにすること。主語をもっと明確にすること。内部監査員の育成とともに監査時間内で対応できる自己チェックリストの活用など改善につながる効果的な運用を検討すること。



自己宣言はある面では審査登録以上に透明性や客観性が求められます。情報開示もより求められます。

業務に直結した品質とますます統合された、より自由度の高いシステム構築と運用が理想でしょう。研究会との関係も適合の確認を受けるだけでなくギブアンドテイク、地域におけるさらなるリーダーシップの発揮を希望しました。

フロン類使用機器の点検 水銀使用製品産廃の追加規制

長野県経営者協会が主催する「環境法の基礎と最新動向」のセミナーを飯田市内で受講しました。すべては報告できませんが対応もれ? 2点について注意喚起です。

フロン排出抑制法

「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」

- ・フロン類を使用した業務用冷凍空調機器(業務用のエアコンや冷凍ショーケースなど)の管理者が対象
- ・点検義務
 - ① すべての機器へ
最低4半期ごとの「簡易点検」
 - ② 7.5kW以上の機器へ
年1回以上等の「定期点検」

水銀使用製品産業廃棄物

「廃棄物処理法の政省令の改正」

- ・蛍光灯、水銀電池、水銀体温計、水銀式血圧計など37種類が対象
- ・産廃保管場所の掲示板に水銀使用製品産廃である旨を記載
- ・保管場所に他の物と混合するおそれのないように仕切り等
- ・委託契約書やmanifestoに水銀使用製品産廃の記載
- ・水銀使用製品産廃を取り扱える産廃処理業者へ処理委託
- ・「水銀廃棄物ガイドライン」公表



不要カレンダー・手帳の プレゼント会

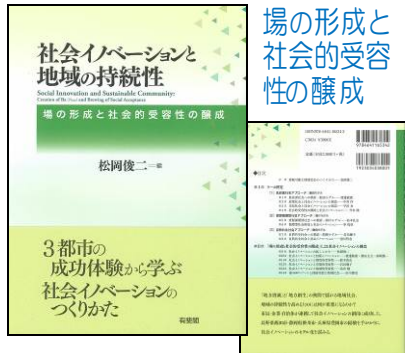
日時: 12月27日(木)・28日(金)
9:00 ~ 12:00
場所: 八十二銀行飯田支店
飯田市役所C棟3階 C311~C313

募集は12月17日(月)~21日(金)です。

【ご意見、お問合せ】、【問い合わせ先】
福岡健志(多摩精工機) 研究会事務局
takeshi-fukuoka@amagawa-seiki.co.jp
小林梅昭(飯田市役所) 研究会事務局
kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp



「社会イノベーションと地域の持続性」松岡俊二編



場の形成と社会的受容性の醸成

この12月15日に有斐閣から出版される「社会イノベーションと地域の持続性」の書籍が研究会と縁深い編者である早稲田大学の松岡俊二教授から送られて来ました。紙の質感といい上品な300頁に飯田市、研究会の話題が満載されています。

14人の執筆陣、研究グループを代表して、「まえがき」で松岡教授が説明。

日本の地域社会はどうなっていくのであろうか。急速な少子高齢化の進行による人口減少はとりわけ日本の地方を直撃している。…地方消滅と地方創生の狭間で揺れる日本の地域社会はどうしたらいいのだろうか。人口減少の中でどのようにすれば、環境的にも、社会的にも、経済的にも持続可能な地域社会をつくることのできるのだろうか。本書はこうした課題を持ち、こうした課題に取り組む地域社会の皆さん、地域行政の担当者、高校生も含めた学生の皆さん、研究者や専門家や政策担当者などを対象としている。

日本の地域社会をどうすればよいかという問いに対して、本書は場の形成と社会的受容性の醸成による社会イノベーションの創造という解決策を提示する。地域社会の持続性課題の解決を目指した地域内外のマルチアクター(多様な担い手)による場の形成が、知識創造プロセスとして機能すると、社会イノベーションにつながる新たなアイデアを生み出す。また、マルチアクター間における社会的受容性の醸成は、新たなアイデアの具体化につながる資源動員の正当化プロセスとして機能し、社会イノベーションの創造を促進する。

持続可能な地域社会の形成への取り組みとして、…人口10万人程度の地域社会の中心となる地方都市の中から、低炭素社会アプローチに取り組む長野県飯田市、資源循環型社会アプローチに取り組む静岡県掛川市、自然共生社会アプローチに取り組む兵庫県豊岡市を研究対象として選択した。

産業社会イノベーションとしての「地域ぐるみ環境ISO研究会」

「まえがき」ではさらに次のように。…第I部のケース研究…では、…3つの地方都市を対象に持続可能な地域社会の形成を目指した社会イノベーションの具体的な取り組みを検証する。

飯田モデルでは、産業社会イノベーションとして多摩川精機などの地域中核企業による「地域ぐるみ環境ISO研究会」、市民社会イノベーションとして太陽光発電システムを推進する「おひさま進歩(NPO株式会社)」に注目した。

…第I部のケース研究と第II部の社会イノベーションのモデル化を通じて、…社会イノベーションのつくりかたに関する3つの重要ポイントを論じる。

第1は、社会イノベーションをつくる新たなアイデアを生み出すためには、場を、誰が、どのようなアジェンダ(課題)・メンバーールで形成するのか、場とメンバーの間における情報蓄積のミクロ・マクロ・ループをいかに有効に機能させるのかを、場の参加者が明確に意識し、場を形成することが重要である。

第2に、社会イノベーションを具体化する資源動員を可能とするためには、全国レベルの社会的受容性(制度、技術、市場)の醸成を前提とし、地域社会におけるマルチ・アクター間の制度的・技術的・市場的受容性の醸成を図ることが重要である。

第3に、マルチ・アクターによる場の形成と社会的受容性の醸成による社会イノベーションの創造のためには、場を主宰(管理)する社会変革の担い手としての実践知リーダーが必須要件である。

そして「あとがき」では次のように。

日本の地域社会の持続可能な発展のためには、社会イノベーションの累積的創造が不可欠であり、社会イノベーションを起こす力を強くすることが日本社会の最大の課題ではなからうか。本書はこうした課題への知的挑戦であり、こうした課題に取り組む読者が、本書から意味ある、役に立つアイデア、コンセプトやモデルを学んで、ぜひ実践に活かすことを願う。

…雪降る飯田市の現地調査…など今となっては多くの興味深いエピソードが経験できたことも楽しい思い出である。…さまざまな知的刺激が得られたことに感謝したい。…2015年10月から2018年1月まで11回の研究会と3回のタスクフォース会合を開催し、飯田市、掛川市、豊岡市など地域社会の現地調査を7回実施した。…関係者への謝意を表したい。

飯田市モデルのケース研究 外からの大きなエールとして

本の構成は松岡氏による序章「持続可能な地域社会のつくりかた」31頁に続き飯田市のケース研究が4章。それぞれの内容と執筆者は第1章「低炭素社会への模索・飯田モデル」14頁は渡邊敏康氏。第2章「産業社会と社会イノベーションの創造」23頁は中村 洋氏。第3章「市民社会と社会イノベーションの創造」20頁は平沼 光氏。第4章「社会的受容性の醸成と社会イノベーション」19頁は升本 潔氏。松岡氏と同様、調査等を通じて飯田との縁の濃い関係の深い人たちばかりです。

さらに掛川市、豊岡市のケース研究、社会イノベーションのモデル化へと馴染みの執筆者が続きます。

飯田市を研究会を「学際的総合研究プロジェクト」で冷静に分析し貴重な本にまとめてくれました。悩みながら走りながらの試行錯誤の研究会活動です。活動だけでなく組織の運営にも大きな課題も見え隠れしています。外からの大きなエールとして力にしたいものです。

フロン排出抑制法

「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」

平常時の対応

①適切な場所への設置等

②機器の点検

- ・全ての第一種特定製品を対象とした簡易点検の実施(3カ月に1回以上)
- ・一定の第一種特定製品について、専門知識を有する者による定期点検の実施

法律上必要な定期点検の頻度

冷蔵機器 冷凍機器	7.5kW以上の機器	1年に一回以上
エアコンデ イシヨナー	50kW以上の機器	1年に一回以上
	7.5kW以上 50kW未満の機器	3年に一回以上

前号で説明不足がありました。

不要リサイクルの手帳のしせ会

日時: 12/27(木)・28(金) 9:00~12:00

場所: 八十二銀行 豊田支店 3階

持込 ⇒ 12/17(月)~25(水)

ご協力よろしくお願ひいたします。

【ご意見、お問合せ】、【配信解除】
福岡健志(多摩川精機株) 研究会事務局
takeshi-fukuoka@anagawa-sei-ki.co.jp
小林敏昭(飯田市役所) 研究会事務局
kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp



研究論文「南信州における地域独自の環境マネジメントシステムの社会的受容性に関する分析」



(一社)環境情報科学センターの「環境情報科学学術研究論文集」へ学術研究論文を投稿し審査が通り、12月17日(月)に日本大学会館での発表会で発表しました。論文名は「南信州における地域独自の環境マネジメントシステムの社会的受容性に関する分析」。論文の筆頭著者は一般財団法人地球・人間環境フォーラム企画調査部の中村 洋さんです。研究会事務局小林が共著者として名ばかりですが少し関わりました。



要旨 南信州独自の環境マネジメントシステムを事例として社会イノベーションが受容された要因、及び協働がサンスの理論枠組みを用いて社会イノベーションの創出・普及プロセスを分析した。その結果、地域貢献の思いを持つ経営者や企業が、行政と協働することにより、社会的受容性の高い社会イノベーションの創出・普及が行われたことが分かった。ただし協働がバナンスによるイノベーションの創出には、傑出した人材が必要で時間・資源・費用も多くかかるため、今後の継続性には不透明な部分もある。

はじめに 環境マネジメントシステム (EMS: Environmental Management System) とは環境に配慮した事業者の行動を促す手法であり、Plan(方針・計画の策定)、Do(実施・運用)、Check(点検)、Act(継続的改善)のPDCAサイクルで構成される。

国際規格である ISO 14001 は環境負荷の低減、生産効率や社会的評価の向上、取引先からの要請などから認証数は世界で34万6189件にのぼる(2018年3月時点)。しかし書類作成や費用などの負担が大きいため中小企業には浸透していない。

社会イノベーションを 地域が自ら進んで受け入れる

中小企業が導入しやすいように ISO 14001 よりも労力や経費の負担が少ないEMSの開発・運用が2000年頃から始まった。代表的な例は環境省が主導し、環境基本計画にも位置付けられている「エコアクション 21」(EA21)である。EA21 に関しては成果と課題に関する先行研究が多く蓄積されている。中小企業がISO 14001などのEMSを導入することで、環境負荷の低減効果、イノベーションの形成効果があることも明らかになっている。

しかし地域で独自に開発された中小企業向けEMSについては、仕組みを概観した既往文献があるものの、それらが生み出されたプロセスや地域の中小企業に受容された要因の分析は十分とは言えなかった。

長野県の南信州地域では、費用や労力の負担など地域の中小企業にEMSが浸透しない課題を解決するために、ISO 14001 を取得した地域の企業が、地域独自のEMSを開発し、20年近く運用することで、中小企業へのEMS導入が進んでいる。

本研究は、なぜ南信州において地域独自のEMSという社会イノベーションが起こったのかを、企業や行政との協働プロセスの観点から明らかにする。さらに社会イノベーションが地域の中小企業に受け入れられた要因を、社会的受容性の観点から明らかにすることを目指す。

「理論枠組み」での定義は次のとおり。

社会イノベーション 特定の地域において人々が集団・組織としてより善く生きることを目的とし、構築される相互関係の全体。
社会的受容性 社会のさまざまな問題や課題に対して、より善い社会の実現を目指し、人々が知識や知恵を出し合い、新たな方法で社会の仕組みを刷新していくこと。

社会的受容性 原子力発電の地域における受け入れの議論から始まり、風力発電の地域での受容性において、地域外で開発されたシステムを地域が受け身で受容する分析に用いられてきた。原子力などの受動的な受容性ではなく、社会イノベーションを地域が自ら進んで受け入れるような能動的な受容性。

論文は J-STAGE 上で一般公開中。

https://doi.org/10.11492/ceispapers.ceis32.0_209

カレンダー・手帳プレゼント会 大盛況開場前に常連の長い列



事業所が納入業者等から頂いたものの不要になった「カレンダー・手帳のプレゼント会」は長野県環境保全協会飯田支部が行うもので、研究会も協力しています。飯田では八十二銀行飯田支店と市役所の2会場です。市役所には実質今週に持ち込まれましたが、その数はカレンダーが1,502本、手帳は213冊です。その後も「まだいい?」と追加…。

問い合わせの電話も多く開場の9時前には入口に50人ほどの列ができ驚きでした。この常連さんたち、リュックや袋に手帳やカレンダーを次々と詰め込んでいきます。そう大量にいるものではなく、知人の分まで持って行くのでしょうか。

丸められたカレンダーを平らに伸ばす作業が大変です。同じものや似たものに仕分けるのも大変です。前日は12人が作業に協力してくれ助かりました。カレンダーを留める金具は僅かになり、ほとんどが分別しやすい紙製になりました。丸めたものを入れるビニールの筒、これも深刻な海洋汚染、プラスチックごみを減らす流れの中ではきっと早いスピードで紙製に変わっていくのでしょうか。カレンダーからも環境を学べます。

2018年・平成30年、お世話になりました。2019年もよろしくお祈りします。

【ご意見、お問合せ】、【配信解除】

福岡健志(多摩川精機株式会社) 研究会事務局

takeshi-fukuoka@anagawa-seiki.co.jp

小林敏昭(飯田市役所) 研究会事務局

kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp



改定版「南信州いいむす21」 移行審査が始まっています



この地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」は頻繁に開催された研究会実務者によるプロジェクト会議での検討を経て昨年10月1日にリリースされました。検討では、現在、「南信州いいむす21」に実際に取り組んでいる事業所の多くが規模が小さいため、分かりやすい用語や表現を使うことにこだわりました。「取り組みマニュアル」も、あれこれ想定し、できるかぎり分かりやすいものを作りたいへん悩んで作成したつもりです。



要求事項も厳選し、大きな要求事項は1~10とし、チェック項目は必須項目が16、加算項目が27で、必須と加算の全項目の43に取り組むと100ポイントになります。

これまでのような「初級」「中級」「上級」といった区分はありません。事業所に出向き説明を受け、取り組んでいるポイント数を確認する審査の仕組みに変更しました。

これまでのような「初級」から「中級」へ、「中級」から「上級」へといったステップアップではなく、いかにポイント数を上げていくかという日々の継続的改善が図れることになりました。「相互内部環境監査への参加」という少しハードルの高い加算項目もありますが、満点の100ポイントはそんなに難しいものではありません。また、組織に合った仕組みを無理なく目指せます。

双方での審査日程の調整 自ら事前にチェックリストで

実際に運用している事業所で審査してみると「取り組みマニュアル」の不具合が早くも出てきています。「取り組み」の継続的改善とともに、「システム」の継続的改善も同時に進めていかなければなりません。

「南信州いいむす21」は、環境マネジメントシステムです。環境という文字がついていますがマネジメントシステムです。その事業所に足りないものを補い、今ある仕組みをより良いものにするために活用してもらえればと思います。

いくつかの様式も用意しており、「南信州広域連合」のホームページに「取り組みマニュアル」などとともに載せてあります。しかし、今使っている書類で、その取り組みが説明できれば十分です。例えば経理上の書類としてエネルギーの使用量は整理しているはずですからそれで十分です。「本業」といかに一体にできるか、「南信州いいむす21」の書類、そのためだけに作る書類はできるだけ減らすことも改定に当たっては目指したつもりです。

「事業所」にとって、そこで働く「従業員」にとって役に立つ、ためになる取り組みを期待しています。勢いよく進めるのもいいですが、息の長い取り組みも必要ですね。



現在、10ほどの事業所の審査の日程が確定しています。もちろん業種も規模もさまざまです。審査の受入が可能な時間帯の照会に対し回答していただき、審査日程を確定していきます。事前に「南信州いいむす21 取り組み状況チェックリスト」で先ず自ら事業所が取り組みができているか、求められている書類があるかどうかをチェックして準備をします。このチェックで審査は終わったようなものです。

環境一斉行動週間は3月に 2月21日(木)に環境イベント

環境一斉行動週間

◆3月5日(火)~11日(月)

◆取組内容

- ① ノーマイカー
- ② そなえる防災
- ③ プラステン

歩こう動こう+10分

研究会が研究会メンバー事業所や地域内の事業所に参加を呼びかけ取り組んでいる「環境一斉行動週間」。さて例年2月実施の「冬」は3月に行うことになりました。3月ですから「春の環境一斉行動週間」ですね。2月はこの地域でも一番寒い季節です。昨年、積雪や風邪・インフルエンザの流行など実施時期として不適切ではとの多くの意見をいただきました。3月は年度末、忙しいという不安要素はありますが…。

気候変動。飯田の役割!

◆とき 2月21日(木)

午後6時~7時半

◆ところ 飯田市役所

C棟3階会議室 C311~313

◆内容 講演 水口 哲氏

日本環境ジャーナリストの会長

牧野市長との対談

◆主催：飯田市…

飯田市主催の講演会のお知らせです。「気候変動。飯田の役割!」としては高村ゆかりさん、木場和義さんに続いて第3弾になります。研究会の共催も予定、詳細は決まり次第ぐるみ通信等でお伝えします。

昨年、長野県環境保全協会飯田支部主催の「カレンダー・手帳のプレゼント会」は12月27日・28日の午前中、八十二銀行飯田支店と市役所の2会場で行われました。来場者がほとんど持ち帰ってくれ、保育園でのお絵かき用もほんのわずかでした。

1人1つかなと思っていましたが抱える程いただき各部屋に飾ることができました。来年もと嬉しいお礼の絵はがきが届いています。

【ご意見、お問合せ】、【配信解除】

福岡健志(多摩川精機株) 研究会事務局

takeshi-fukuoka@amagawa-seiki.co.jp

小林敏昭(飯田市役所) 研究会事務局

kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp



新しい「南信州いいむす21」 審査が取り組み改善に直結

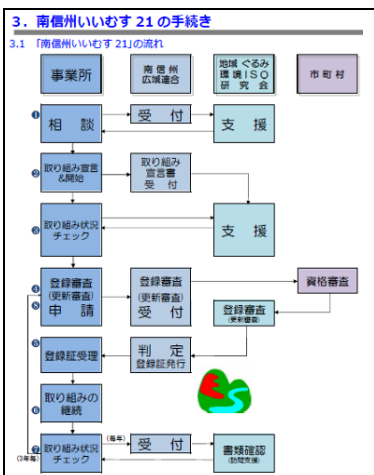


「南信州いいむす21」は私たちの地域独自の環境マネジメントシステムです。10月1日に改定される前は、環境マネジメントシステムの国際規格ISO 14001に準じた簡易なシステムでした。ISO 14001の2015年改定の意図を盛り込むとともに取り組み事業所の規模や地域の特性を反映させたシステムに改定しました。

さて、新しいシステムでの審査が進められています。これまでの審査は申請のあった初級・中級・上級それぞれの要求事項をチェックするだけでした。新しい審査では全ての項目をチェックする必要があります。全て行われると100ポイントのうちその事業所の取り組みが何ポイントか、どの位置にあるのかを審査で確認していくことになります。



(有)愛光電子(1月18日)と株丸宝計器(1月29日)に対する審査の様子です。担当のほか工場長や社長が終始同席してく審査が取り組みの改善につながるのを感じられます。審査の流れは次のとおりです。



要求事項は必須16・加算27 自己採点の全項目を審査で確認

「南信州いいむす21」要求事項

1 南信州いいむす21の取り組み宣言

- (1) 代表者は、南信州いいむす21に取り組む理由を様式1「南信州いいむす21取り組み宣言書」にまとめる。
- (2) 事業所は、環境一斉行動週間へ参加する。
- (3) 事業所は、地域ぐるみ環境 ISO 研究会から依頼する次の①～②の活動を行う。
 - ① 相互内部環境監査への参加
 - ② 環境イベント、研修などへの参加

2 事業所を取り巻く状況の決定

- (1) 事業所は、事業活動全体の課題を決め、図や表にする。
- (2) 事業所は、事業活動のうち、環境に関する次の①～②を決め、図や表にする。
 - ① 影響を与える原因となる課題、又は与える原因となる可能性のある課題
 - ② 事業所の外部から影響を受ける課題、又は受ける可能性のある課題

3 環境法令などの決定

- (1) 事業所は、事業活動で守らなければならない環境法令などを決め、様式4「いいむす21環境法令一覧表」にまとめる。
- (2) 事業所は、(1)で決めた環境法令などについて事業所で実施する内容を決め、様式4「いいむす21環境法令一覧表」にまとめる。
- (3) 事業所は、「守らなければならない環境法令など」と「実施する内容」を最新版で管理する。

4 「南信州いいむす21方針」の策定

- (1) 代表者は、次の①～②の内容を明記した文書として定める。
 - ① 南信州いいむす21の取り組み方針
 - ② 南信州いいむす21方針を定めた日(または改定した日)と事業所名・代表者名
- (2) 代表者は、南信州いいむす21方針の次の①～②を加える。
 - ① 目標を決めて取り組み、継続していくこと。
 - ② 環境法令などを守ること。
- (3) 事業所は、南信州いいむす21方針を全従業員に知ってもらい、その日時・対象者を記録する。
- (4) 事業所は、南信州いいむす21方針を事業所外の関係者にも示せるようにする。

5 取り組み目標の決定

- (1) 事業所は、要求4で策定した南信州いいむす21方針を踏まえて南信州いいむす21の取り組み目標を決め、様式5「南信州いいむす21取り組み目標」に記入する。
- (2) 事業所は、(1)の取り組み目標を達成するために、次の①～②を決め、様式5「南信州いいむす21取り組み目標」に記入する。
 - ① どのような方法で取り組みか、責任者は誰か
 - ② いつまでに達成するか
- (3) 事業所は、全従業員に取り組み目標を知ってもらい、その日時・対象者を記録する。

青字は要求事項10のタイトル、赤字は必須で取り込むこととされている16の要求事項、黒字は加算として任意に取り組む27の要求事項です。審査を受ける側は事前に全要求事項について取り組みチェックリストにより自己採点します。審査を通じて実際にできているかできていないかを逐一確認していきます。

6 役割と責任の割り当て

- (1) 代表者は、各自の役割と責任を割り当て、記録する。
- (2) 事業所は、役割と責任を全従業員が見えるところに掲示する。

7 事故や災害などへの準備

- (1) 事業所は、次の①～⑤を実施する。
 - ① 起きるかもしれない事故や災害などのうち準備が必要なことを決め、記録する。
 - ② ①が起きた場合の準備や手順を決め、図や表にする。
 - ③ ②の手順を、少なくとも年に1回はテストし、結果を記録する。
 - ④ ②の手順を、必要に応じて見直す。
 - ⑤ ②の手順を全従業員に理解させ、その日時・対象者を記録する。

8 取り組み状況の確認

- (1) 事業所は、様式2「南信州いいむす21取り組み状況チェックリスト」で、定期的に取り組み内容を確認する。
- (2) 事業所は、次の①～③を定期的に確認し、記録する。
 - ① 要求3で決めた「環境法令など」を守っているか
 - ② 要求5で決めた「取り組み目標」を達成しているか
 - ③ エネルギーの使用量

9 代表者による指示

- (1) 代表者は、次の①～③について、少なくとも年に1回、変更が必要であるかを指示し、様式6「南信州いいむす21取り組み確認書」に記録し、その内容を踏まえて変更する。
 - ① 様式4「南信州いいむす21環境法令一覧表」
 - ② 要求4で策定した「南信州いいむす21方針」
 - ③ 様式5「南信州いいむす21取り組み目標」
- (2) 代表者は、次の①～③について、少なくとも年に1回、変更が必要であるかを指示し、様式6「南信州いいむす21取り組み確認書」に記録し、その内容を踏まえて変更する。
 - ① 要求2で決めた「事業所を取り巻く状況」
 - ② 要求6で記録した「役割と責任の割り当て」
 - ③ 事業活動の変更

10 問題への対応

- (1) 事業所は、次の①～⑤の問題が発生したとき、対応し、原因を調査・分析し、記録する。
 - ① 取り組み目標が達成できなかったとき。
 - ② 環境法令などが守られなかったとき。
 - ③ 事業所が定めたルールが守られなかったとき。
 - ④ 環境汚染事故があったとき。
 - ⑤ 環境についての苦情や指摘があったとき。
- (2) 事業所は、問題が発生した場合、再発防止を行い、記録する。

必須の取り組み、環境一斉行動週間

- ◆ 3月5日(火)～11日(月)
- ◆ ノーマイカー・そなえる防災・プラステン(歩こう動こう+10分)

加算の取り組み、環境イベント

- 講演「気候変動。飯田の役割!」
- ◆ 2月21日(木)18:00～19:30
- ◆ 飯田市役所 C棟3階会議室

【ご意見、お問合せ】、【配付情報】
福岡健志(多摩川精機株) 研究会事務局
takeshi-fukuoka@t.amagawa-sei.ki.co.jp
小林敏昭(飯田市役所) 研究会事務局
kobayashi.toshiaki@city.iid.nagano.jp



創刊から18年の歳月を経て No.300から9年半かけて

「地域ぐるみ環境ISO研究会」のメール情報「ぐるみ通信」が400号となりました。下は2001. 2. 23のNo.1、2005. 2. 14のNo.100、2007. 1. 22のNo.200、2009. 9. 10のNo.300。バックナンバーは研究会ホームページにあります。あらためて研究会18年におよぶ歴史をぜひご覧ください。

「南信州いむす21」プロジェクト会議メンバーから声を集めました。



◆400号発行に至るまで、世の中の環境は目まぐるしく変化し続けてきました。御座りな対応をしてはすぐに遅れをとってしまいます。変革的な発想を新たな試みを研究会の特性を活かして起案し、変化に対応し続けていきたいですね。

オムロンオートモーティブエレクトロニクス㈱
飯田事業所 木下喜絵

◆調べてみますと記念すべき第1号は2001年2月23日に発行されています。偶然にも18年後の同じ頃に節目となる400号を発行することが出来ました。ぐるみ通信は、参加事業所メンバーをはじめ、環境、生活安全、省資源の情報発信を目的に研究会の機関紙としてスタートしました。第1号では、地域の事業所自治体がその枠を超え、連携して「ぐるみ運動」を展開することによって地域全体がレベルアップするという研究会の理念を呼びかけています。この理念は18年が経過した今でも新鮮に感じるほど色褪せず改めて当時の先見性に驚かされるばかりです。この18年間という間には、温暖化などの地球環境から飯田地域の事業者に至るまで大きく変化してきました。私たち研究会もこうした変化を踏まえ変わっていかねばなりません。ぐるみ通信はこれからも発行を続けますが、皆様にとってよりよい飯田地域を目指す情報元としてお役に立てていただけることを願っています。

多摩川精機㈱ 福岡健志

◆研究会の活動で多くの仲間、関係者と出逢い様々な縁や不思議なつながりを感じます。「ぐるみ通信」に出逢えたことも一つの大切な縁。これからも地域にとっても研究会にとっても多くの素敵な出逢い、つながりがありますように！「ぐるみ通信」が更に歴史を重ね、地域の文化遺産となりますように！

吉川建設㈱ 村松圭介

◆祝400号突破！飯田市の産業や環境に対するホットな取り組みなど、ありのままの飯田市を、届けてくれる貴重なツールのひとつですね。今後の賑わいと愛読者拡大を期待しています。

三菱電機㈱中津川製作所飯田工場 久保田 忍

◆改めて当初のぐるみ通信を読み直してみますと当時の環境に対する熱い思いがひしひしと伝わってきます。環境問題は、年を増すごとに複雑化してきていますが、多くの皆さんとともに次世代により良い環境を引き継いでいく気持ちは変わっていません。研究会の「地域の自然を残し、持続可能な地域づくりのため、新しい環境改善の地域文化を創造する。」という素晴らしい活動理念を引き継ぎ、400号発行を契機に微力ながらも、ますます活動を盛り上げていきたいと思ひます。

飯田市役所 小林 晋

◆ぐるみ通信とのお付き合いは、弊社前実務者から引き継ぎを行った後の335号からになります。今回400号とのことで、65号の間、約2年半の間、情報をいただいているわけですが、あらためて見返してみると研究会でのイベントや行事、最近では南信州いむす21の改定など自分の携わっていた部分が思い起こされます。同時に自分の携わっていない部分や実行委員の方々の御苦労に気付かされました。これからも研究会のメールマガジンとして情報発信はもちろんです。継続による積み重ねの、そして形として残すということの手本であり続けてください。

アイパックス㈱ 鈴木利和

◆「ぐるみ通信」が400号を迎えました。「ぐるみ」という意味を調べてみると「そのものを含んですべて」だそうです。研究会を含んで全ての人が孫子の代まで幸せに暮らせられるように今後も活動をお願いします。

◆継続は力なりと良く言いますが、研究会の皆さんの日々の地道な活動の結果が400号を支えていることは言うまでもありません。私個人では大きな力を出せないと思いますが、皆さんのお知恵やお力をいただきながら活動に参加させていただき地道にコツコツといきたいと思ひます。引き続きよろしくお願ひいたします。

シズン時計メカニック㈱ 羽生伸博

◆当研究会に参加して、「企業人・家庭人・地域人」それぞれの立場で「環境」を勉強し、考え、行動するようになることができました。未来の故郷が住みよい環境であることを願ひます。

旭松食品㈱ 松尾 優

◆ぐるみ通信の初版が2001年2月23日、「ぐるみ通信の創刊にあたって」と題して研究会の代表から一言、101号は2005年2月27日、「2/16「京都議定書」発行、「小京都」飯田では」、201号は、2007年1月24日「持続可能な地域づくりの鍵は「人」西寺多治見市長を迎えて」、301号は2009年10月26日「生活と環境まつり2009」、次の302号で「300号記念、実務者の声」の特集。継続すること18年、6,564日を経過して、ついに400号。1号から399号まで、この機会に読み直しました。研究会の活動、飯田そして日本の環境にまつる歴史を見るような感じです。配信されてくる「ぐるみ通信」を、ただ読み、関係される方々に再配信しただけですが、執筆していただいた方々、話題を提供していただいた方々に心より感謝、感謝…です。世の中は大きな変化の波の中、また、研究会も同じように曲がり角。執筆者も替わり、研究会のあり方も変わっていきますが、この「ぐるみ通信」が続く限りこゝに読んでいただければ有り難いと思ひます。

多摩川精機㈱ 沢柳俊之

◆ぐるみ通信をバックナンバーから読んでいくと、その時々の中での動きや、研究会が何を考え、どんな活動をしてきたのかが分かります。400号分の活動をしてきた研究会とその活動を支える方々、ぐるみ通信の中の方、本当におめでとうございませう。そしてこれからもよろしくお願ひします。

多摩川精機㈱ 藤原由里絵

◆2001. 2. 23にNo.001ではなくNo. 1を強い思いで発信した「ぐるみ通信」。再び16年後のNo.332から、そして、このNo.400を担当するというあり得ない不思議を味わっています。作って発信する、それを苦痛と感じるか、楽しみと感ずるか、愚直に続けていければ数字は積み重ねて大きくなります。通信を通じ、地域内外の多くの人たちとつながっていることを自然と教えられます。「暮らしの手帖」が創刊70年を経て2-3月号で98号、5月には4回目の100号を迎えるそうです。「初心に立ち返り」100号ごとに1号から始める…。20年が過ぎて、研究会を取り巻く環境が激しく変わってきています。「ぐるみ通信」も次は、401ではなく1に戻るべきかも知れませぬ。

飯田市役所 小林敏昭



【ご意見、お問合せ】、【問い合わせ先】

福岡健志(多摩川精機㈱) 研究会事務局

takeshi-fukuoka@anagawa-sei-ki.co.jp

小林敏昭(飯田市役所) 研究会事務局

kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp